

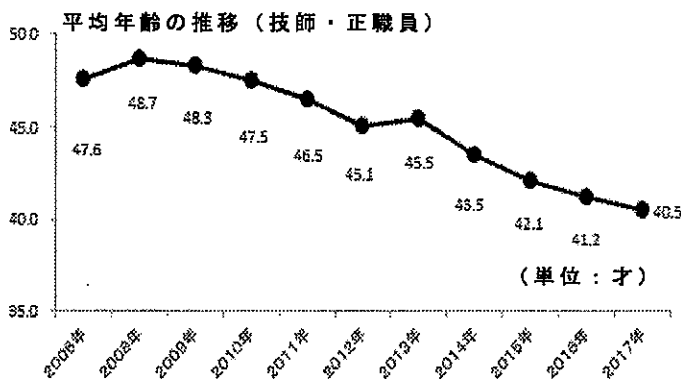
秋厚労ニュース

NO1812号
2017年12月14日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

病院による 年令の偏り

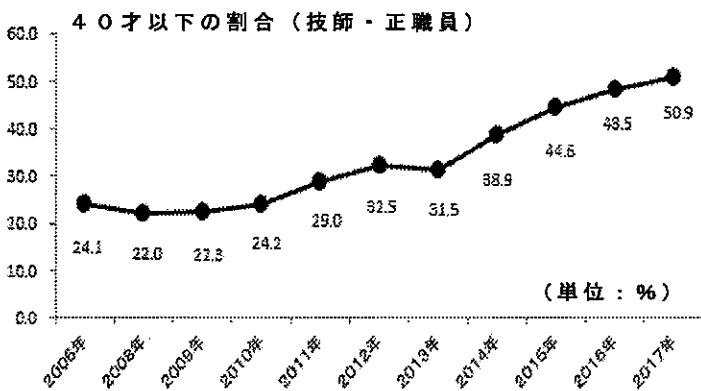
検査科 年令調査

秋厚労・検査科勤務者会議は、今年も「年令調査」を実施しました。平均年令は40才と段々若返ってきています。人手が集まらない状況に対して、同会議では「人手不足」の実態を客観化することを検討しています。



検査科勤務者会議の「年令調査」の目的は「委託・センター化構想」により採用が10年間ストップした影響を客観化する事です。2006年の調査開始以降、「年令調査」は継続され、調査用紙も回数を重ねるごとに改善されてきています。「全病院のデータ把握」というのは検査科だけでなく、さまざまな検査科で、大きな説得力を持ちます。

平均年令は40・5才、平均年令40・5才



40才以下の割合も50・9%と年々若返っていることがわかります。調査初年度(2006年)の平均年令が47・6才という結果から、明らかに改善されました。

この結果に伴い、新たな問題が浮き彫りになりました。検査科全体の年令の問題が浮き彫りになりました。

振替休日が取れない

男女比(全スタッフ)では2017年は男性68人、女性148人と女性が多い結果となっています。

女性の比率が多いことは問題ではありませんが、日直の扱いで問題が生じます。検査科の日直の扱いについては、男性は時間外手当、女性には振替休日(第2、4土曜日)は時間外手当)対応になっています。

小さな病院では実質的な「1人職場」になっている担当箇所も少なくありません。そのため担当業務のある平日になかなか振替休日を取れずに溜まっている現状があります。振替休日を取りにくい、第2、4土曜日に女性を日直につけると、今度は男性の日直回数が増え、負担になることも

バランスは回復しましたが、病院によって年令の差がより目立ちます。秋田厚生医療センターでは20才代が11人、全体の46%を占めています。現場では若い人に指導したい思いがあるのに、忙しいためなかなか思うようにならない状況です。

検査科では慢性的な「人手不足」が深刻化しています。人手が必要な理由(人手不足の実態)を明らかにする運動として「検査以外の業務」の実態を調査することにしました。例えば、採血、院内ラウンド、委員会など。検査科の人手不足を客観化することで問題の発見と、これからの解決への糸口にしていく考えです。

「人手不足」を客観化

スタッフ数 (技師・正職員)

(単位: 人)

	鹿角	北秋	山本	秋東	秋田	由利	大曲	平鹿	雄勝
60才以上	0	0	0	1	0	1	1	1	0
50才代	1	3	2	2	6	5	9	8	6
40才代	3	4	7	2	5	2	4	7	3
30才代	3	1	8	0	2	10	4	8	3
20才代	2	1	5	0	11	8	8	4	1
計	9	9	22	5	24	26	26	28	13

あります。この悪循環で休みにくい職場環境になってしまっています。